

<合歓のうた>

— だいじなからだ —

4月から5月にかけて園医による内科と歯科の健康診断を行っています。「よろしくお願いします。」の挨拶で始まるのですが、どの子もやや緊張気味。「はい、お口を開けてね。」の指示に潔く大きな口を開ける子もいれば貝のようにギュッと口をつぐむ子もいます。しかし流石は先生方、一人ひとり丁寧に診ていただいています。自分のからだや健康に関心を持つ良い機会にもなっています。

今、各クラスでも年齢に合わせて大切な『からだ』と『性』についてのお話をしています。幼児期は自分の『からだ』の成長や他人との違いなどに興味津々な時期、人前で「うんち」「ちんちん」など連呼して困ったな。という経験がおありの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。大抵は「キャー」「ヤダー」など周りの反応を面白がっていることが多いです。表情を変えずさらりと受け止めることで拍子抜けして収まることもあります。年長・年中では、トイレの個室には他の人が入っているかもしれないから必ずノックしようね。といったマナーや(幼稚園では安全性のため子ども用トイレに鍵はありません。)絵本『だいじだいじどーこだ?』(大泉書店)を用いて“プライベートゾーン”や自分のからだは世界にただ一つ大切なもの、それは他の人も同じだね。と皆で話し合いました。数人の子どもから「その本おうちにもあるよ。」との声が上がったそうです。年少やひよこ組も私たち保育者がプライバシーに配慮する姿を見せたり伝えていくことで意識していられるように心掛けています。

ご家庭でも◇『からだ』の大切さ ◇Yes も No も自分で決めていいんだよ ◇いつもあなたの味方だよをポイントにタイミングをみてぜひ話をしていただきたいなと思います。

